

福島大学東日本大震災総合支援プロジェクト

学校安全と子どもの心の危機管理

- 教職員と保護者が知っておきたいこと -

被災した児童・生徒はもとより、彼らを急遽受け入れることになった学校の児童・生徒、保護者、教員のストレスは大きく、心理・社会・福祉的支援は欠かせない。文化・社会的背景の異なる児童・生徒間の突然の交流は、一時的にも対人葛藤が生じるおそれを高じさせ、不登校、いじめなどの問題行動の出現が懸念される。また、発達障害のある児童・生徒などハイリスク要因への対処同様、不安を抱く保護者への支援も不可欠である。

講師は、武蔵野大学人間科学部教授であり、日本トラウマティックストレス学会理事、内閣府「中央交通安全対策会議」専門委員の要職に就いている。1993年の北海道南西沖地震で子どもたちの心のケアに取り組み、その後の阪神・淡路大震災では教師向けの「危機介入ハンドブック」を兵庫県教育委員会に提供している。

当日は、『学校安全と子どもの心の危機管理』（誠信書房）の編著者として、震災の被災者はもとより、犯罪や事故の被害者に対する心理的支援、専門職への後方支援、被災者・被害者を取り巻くさまざまな関係組織のコラボレーションに関わる基本から最新の知見まで教示していただく。

教職員、スクールカウンセラー、臨床心理士、児童福祉、精神保健、そしてこの問題に関心のある大学院生・学生など、どうぞふるってご参加ください。本学大学院人間発達文化研究科学校臨床心理専攻教員による学校支援報告も併せて行います。

講師：藤森 和美 先生（武蔵野大学教授・臨床心理士・博士（人間科学））

日時：平成23年6月15日（水） 午後6時～午後8時

場所：福島大学 L1 教室（東北本線金谷川駅下車徒歩10分）

対象：教職員・スクールカウンセラー・臨床心理・児童福祉・学生・一般

参加費：無料 定員：200名（事前申し込みは不要）

後援：福島県教育委員会 福島県臨床心理士会

問い合わせ先：福島大学総合教育研究センター

電話：024-548-8110

生島 浩研究室 FAX：024-548-5172